

令和5年 9月20日(水)
 【倉敷市青少年育成センター】
 倉敷市西中新田640番地
 TEL 426-3861 / FAX 421-6018

育成センター情報

秋晴の候、皆様方には平素より青少年の健全育成のためにご尽力いただき、ありがとうございます。今年、気温36℃を超える猛暑日が続く、厳しい夏となりました。そのような中、愛媛県で開催された、「第50回全日本中学校陸上競技選手権大会」で、地元、倉敷市立福田南中学校の生徒が、[男子4×100m リレー]で日本一に輝き、我々もその雄姿に感動し、元気を与えられました。今後も児童・生徒が、勉強やスポーツ・文化活動等に全力で取り組み、益々活躍する姿を楽しみにしております。

また、夏休み期間中に行われた、夜市・夏祭り等の夜間合同補導にご参加いただきましてありがとうございました。学校・地域・少年補導委員の皆様の温かい声掛けのおかげで、大きな事件、事故、問題は起こりませんでした、たいへんお世話になりました。

さて、学校では、2学期が始まりました。1日も早く児童・生徒が生活のリズムを取り戻し、しっかりと目標を立て、その目標に向かって頑張りたいと願い、見守っていききたいと思います。

◇ 夏季休業中の各地区の様子



【倉敷地区】

倉敷駅周辺では、少年を多く見かけました。夏休み中に最も多く補導した場所は、アリオ・イオンの量販店です。補導対象行為としては主に喫煙でした。また、遊泳禁止区域で遊んでいる小・中学生がいました。遊泳禁止区域での遊泳については命に係わることであるため、しっかりと学校で指導していただいたおかげで、本年度も減少傾向にあります。また、地区外の生徒との交流が目立っており、今後の生徒の動向が気になります。2学期が始まってからは、学校周辺・倉敷駅前での怠学補導に重点を置いて補導活動をしていきます。

【水島地区】

日中は、イオン水島のゲームコーナーやプールなどの施設で、児童・生徒の姿を多く見かけましたが、補導対象となる行為はほとんどありませんでした。また、公園のゴミも少なく、比較的きれいな状態が保たれています。夜間の補導(土曜夜市)は、多くの人出で賑わっていましたが、特に問題はありませんでした。夏休み中も、水泳の練習・学習指導で登校する小学生や、部活動で熱心に活動する中学生と挨拶を交わすことができ安心しています。



【児島地区】

大島漁港・海岸で生徒を多く見かけました。夏休み中には、橋からの飛び込みが何件もあり、大変キケンな行為で命に係わります。また、補導した件数の全てが遊泳禁止区域での遊泳でした。学校でも事前に指導をしていただき、夏休み中も先生方には、補導活動や見回りなどにご協力をいただきました。夜間合同補導、中学校区での補導活動時に量販店で児童・生徒を見かけましたが、補導対象となる行動はなく、落ち着いている様子でした。今の状況が、持続されるよう地域での声掛け・見守りを、引き続きよろしくお願いいたします。

【玉島地区】

日中の青パトでの巡回や、夜間の合同補導でも人出が少なく、全体的に落ち着いた状況でした。夏休み中は、公園や量販店での喫煙がありました。また、地域の方からは小田川の遊泳禁止区域で遊泳しているという情報もお聞きしています。事故にはつながっていませんが、今後も安全に対する意識の向上を、地域においても図っていく必要があります。さらに沙美海岸では、ゴミの散らかしが多く、対応に苦慮している状況です。その他の公園は、ゴミも少なく比較的きれいな状態を保っています。

◇ 各地区研修会開催

今年も7月地区研修会には、各警察署生活安全課、倉敷少年サポートセンターに出席していただき、青少年の補導に関する県全体や各警察署管内の状況、夏の補導に向けて留意すべきポイントなどをお話いただき、補導活動に活かせる情報交換を積極的に行いました。



◇ 倉敷・児島地区研修視察

《倉敷地区》 8月3日（木）に、高知県南国市の『希望が丘学園』で研修・視察をしました。

- (1) 希望が丘学園は、全国の各都道府県に1校設置されている公立の児童・生徒自立支援施設の中の1校で、岡山県では成徳学校がこれにあたる。 ※(定員40名 男子寮2寮舎、女子寮2寮舎)
- (2) 全寮制で地元県内の生徒・児童18人が入所している。R5.8.3現在
- (3) 原則として一年間の自立支援の流れに沿ったプログラムを基に支援をする。
- (4) 小・中学校を設置している。

ここは、全寮制で職員の住み込みではなく、寮監は通勤交代制となっている。岡山の成徳学校のような職員の住み込みによる体制は、全国的には少数になってきているそうである。児童にとって家族的な温かい触れ合いの中で支援されることは良いことだと思うが、住み込みの職員が不足で、現在の体制にならざるを得ないようである。また、入寮している児童・生徒の発達段階に応じて、その都度「個別のケース会議」で検討するシステムの説明を受けた。これは、出身学校の教員や、児童相談所も参加するものであり、非常に丁寧な支援をしていると思った。実際に岡山ではこのような取組は、対象者の人数も多く、児童相談所の参加も難しいのではないかと思う。児童・生徒の多くは規則正しい生活と、厳しい規則も設けられており、細かなところまで配慮されていることが分かった。児童・生徒自立支援施設と学校の併設の特色もいかされたものになっていると感じた。

(倉敷・児島地区少年補導委員研修視察での様子) ※玉島地区は次回のセンター情報にて



《児島地区》 8月22日（火）に、鳥取県米子市の『喜多原学園』で研修・視察をしました。

- (1) 喜多原学園は、非行・その他の問題をもった子どもたちに対して、家庭に代わって総合的な生活指導をし、子どもたちの心身の健全な育成を図るとともに、社会的な自立に向けて様々な援助をする施設である。また、上記の希望が丘学園と同様の児童・生徒自立支援施設である。

※(定員36名 男子寮24名、女子寮12名)

- (2) 全寮制で地元県内の児童・生徒14人が入所している。※R5.8.22現在
- (3) 教育活動の理念と支援方針は下記である。

理念 … 子供が自立し、社会と調和して生活する子供を支援する。

支援方針 … ①安定した生活と、子供の自主性を大切にする。

②個別の支援と集団支援のバランスを大切にする。

③学園が有する豊かな環境を大切にする。

職員の勤務は通勤交代制が導入されている。ちなみに岡山県の自立支援施設『成徳学校』は、夫婦庁舎制である。(全国でも珍しい) また、平成16年には、米子市立福生中学校いずみ分校が開校し、学校教育が導入されたことで、学校との連携が図れることによって進路指導の面で大きなメリットが生まれている。現在では、在籍生徒の進路保障に大きな役割を果たしている。

本年度の「青少年を育てる会」との合同研修は、10月24日(火)13:30～ 《ライフパーク倉敷》で行います。詳細については、後日ご案内します。